

12月1日受付分

12月1日現在、7号機は漏水・出力低下修繕後出力上昇中だ。1号機は定常運転、5号機は試運転出力上昇中だ。

7号機 漏水事故発生 11.16 午後

7号機 制御棒事件発覚 11.01 指示文書。今日は3号制御棒が制御不能となった。事故続きに危惧する。

●東電に対する質問

Q1 今朝 東電 HP の「各号機運転状況」で 1号と5号、7号を比較した。

7号機は1号機（定常運転）に比較して

①排ガス放射線モニタは20倍、高感度オフガスモニタは15倍程度 桁違いに大きい。

7号機が値が桁違いに高い理由は何か。

Q2 排ガス・高感度オフガスとも、1号・5号は11.30の観測値まで表示されているのに、7号機は11.25までの表示である。

7号機の表示が5日も遅れる理由は何か。

他号機がリアルタイムで公表できる理由は何か。

すべてをリアルタイムで公開できない理由は何か。

速やかに全記録をリアルタイムで公開することを求める。

Q3 先回、7号機燃料漏れ後の定格出力までの時間が、昨年の場合100時間弱だったが、今回は170時間で異常に長いのではないかと聞いた所、燃料配列の相違のためだとの説明があった。

今回の水漏れでは、定格出力まで2週間（24時間×14日＝336時間）を要すると発表されている。それはあらかじめ定められた手順だという。

そこで質問する。

7号機に関して

- ・ 通常運転時の出力上昇（地震前 過去2～3回の出力上昇実績と手順）
- ・ 昨年の燃料破損時の出力上昇 の「定められた手順」を示せ
- ・ 今年の燃料破損時の出力上昇 の「定められた手順」を示せ
- ・ 今回の水漏れ修繕時の出力上昇 の「定められた手順」を示せ

出力上昇は時間と出力の関係のグラフで、「手順書は誰でも理解できるもの」で他号機の 起動～定格出力の実態（出力上昇は時間と出力の関係のグラフ）と「手順書」

Q4 制御棒問題 7号機の使用済み制御棒の破損問題が発覚した。

いつ、最初のひび割れを確認したのか。

通常の使用済み制御棒確認はどうしているのか。なぜ、発見できたのか。

7号機の相次ぐトラブルとその対応に不信が募る。想定を超える地震を受けた原発である。停止して徹底点検が必要ではないか。停止点検不要の理由は何か。

Q5 ポンプ水漏れ（最新号機の7号機で発生）

過去（全号機）の類似漏水の有無の一覧表。最新・希な現象なら地震との関係の有無とその判断根拠は何か。

●県（市・村）に対する質問

問題発生毎に実施する現場立入調査はアリバイ的であり、問題の幕引きのための儀式となっていないか。内部告発や、県民の具体的疑念を受付、立入調査・解明をする体制整備が必要でないのか。

現在の体制の実情を示して欲しい。体制改善の有無に対する認識を示して欲しい。